

2016年3月18日
日 本 銀 行

豪州準備銀行との為替スワップ取極締結について

日本銀行は、2016年3月18日、豪州準備銀行との間で、両国の信用秩序の維持に資する観点から、豪ドルおよび日本円を相互に融通するための為替スワップ取極を締結した。

本取極による引出限度額は、本行において200億豪ドル、豪州準備銀行において1.6兆円である。また、本取極の有効期限は2019年3月17日である。

わが国と豪州は金融経済面での結びつきを強めており、本邦金融機関の豪ドル建てのビジネスも拡大してきている。日本銀行は、本邦金融機関の豪ドルの資金決済に不測の支障が生じ、わが国金融システムの安定確保のために必要と判断する場合には、本スワップ取極を活用して、豪ドルの流動性供給を行う方針である。